

『自社の強み』を知的財産の観点から把握したい方々へ

「知財ビジネス評価書」のご案内 ～御社の知的財産の将来性を評価しませんか？～

■ 知財ビジネス評価書とは

- ◇ 専門の調査会社が、企業が保有する特許・商標権等の知的財産の観点から、知的財産の活用状況や市場動向等の現状分析を経て、事業全体を評価します。
- ◇ 評価書により、事業上の優位性やリスクファクター、課題等を把握することができます。

＜評価書の内容(一例)＞

- 特許権等技術の強さを評価 ● 特許等の技術を使った製品の市場性について評価
- 今後の事業の成長性や見通しについて評価 ● 知財や事業に関する課題を整理

【評価書の例】(株)工業市場研究所作成の評価書の一部抜粋)

対象企業の事業に関する SWOT 分析	
●●●は●●●を●●●させて色々な形状に加工する成形メーカーであり、その事業を SWOT 分析すると下記ようになる。	
強み <ul style="list-style-type: none"> ✓ ●●●後の細かな●●●を●●●の中に効率良く ●●●する技術 ✓ 大手企業とのコラボレーションにより、特許侵害で訴えられるリスクを低減できている 	機会 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ●●●や●●●、●●●などの新規用途開拓 ✓ 大学との共同開発に基づく●●●の商品化 ✓ ●●●向け●●●の増産
弱み <ul style="list-style-type: none"> ✓ ●●●及び製品開発面で●●●に依存しすぎていること ✓ 特許につながる●●●の適切な管理 	脅威 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ●●●の●●●に対する競合商品の台頭 ✓ ●●●との不採算取引の継続

サマリーページで、事業上の強みや課題等を簡潔に把握することができます。

事業の市場性・将来性について
<ul style="list-style-type: none"> ● 固定客からの下請型ビジネスモデルから脱却し、業界ではごく稀な新規用途開拓に自ら乗り出しており、直近でも●●●や●●●、●●●などの各用途で実用化時期が近付いている。 ➢ ただし、これらの新規用途分野においてどの程度の売上が期待できるかについては、現段階では未知数である。
今後に向けた課題/リスクファクター
<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期的な事業拡大を支える新規用途開発・製品開発において、●●●1人のリーダーシップに依存し過ぎているのが目下、最大のリスクファクターである。 ➢ パートナー相手の探索から●●●、●●●条件に関する交渉までの各過程で●●●が担っている役割・機能を具体的に洗い出し、後任スタッフへ引き継ぐことが喫緊の課題である。 ➢ この引き継ぎが滞りなく進まなかった場合には、●●●時点で水が立っている用途で一時的な増収につながったとしても、継続的な新規用途開拓が頓挫することは確実である。 ➢ 新規用途開発のスキルと行動力を持った即戦力人材を中途採用するという選択肢も考えられるが、●●●という地域柄を考えると、仮にそうした人材を採用できたとしても、そのスキルを周囲のメンバーが吸収するまで雇用し続けられる可能性は決して高いとは言えない。

各評価項目で、今後の事業戦略の策定に参考となる評価情報が記載されています。

■ 評価書のメリット

1. 市場動向や成長性等に関する情報を入手できます

自社の強みや課題等を把握できるだけでなく、同業他社の動向や市場の成長性等、入手しにくい情報も入手することができます。

2. 今後の事業戦略を策定する際に活用できます

外部情報に加え、事業上の優位性やリスクファクター、課題等を把握することができるため、今後の事業戦略を策定する際の参考資料として活用することができます。

3. 他社とのコミュニケーションツールとして活用できます

販路開拓や事業提携の際のPR材料として活用できるとともに、評価内容をステークホルダー(仕入先や金融機関等)と共有することで、一層の信頼関係を築くことにも活用できます。

■ お申込み方法

◇ 当金庫では、以下の2つの調査会社と提携しております。御社のご利用ニーズに合う調査会社をお選びいただき、当金庫までご連絡ください。当金庫より、調査会社に評価書の作成を申込みいたします。

【調査会社の一覧】

	(株)工業市場研究所	(株)パテント・ファイナンス・コンサルティング
評価書の主な特徴	御社の事業に関する定性的な評価で構成されています。	御社の事業に関する現状分析を踏まえ、知財権を価値評価します。
評価書の構成	<ul style="list-style-type: none">・サマリーページ・企業概要・保有技術／製品の概要・保有技術／製品の評価・市場性／将来性の評価・課題	<ul style="list-style-type: none">・知財分析・市場分析・知財権の価値評価・知財活用上の課題とソリューション
活用方法の例	今後の事業戦略を策定する際の参考資料としての活用が考えられます。	企業価値算定時等、保有する知財権の価値を把握しておきたい場合に活用できます。
評価対象の知財権	特許、意匠、実用新案、商標 ※権利化されていなくても評価は可能です。	特許、意匠、実用新案、商標、プログラム著作、育成者 ※権利化されていなくても評価は可能です。
評価不可の業種	バイオ・製薬・半導体・金融の各業種	バイオ・製薬・化学の各業種
訪問調査	ヒアリング調査にご協力いただきます。	ヒアリング調査にご協力いただきます。
資料提出	決算書等をご提出いただきます。	決算書や事業計画書等をご提出いただきます。
作成期間	ヒアリング調査後約1ヶ月後に評価書を送付されます	ヒアリング調査後3週間程度で評価書を送付されます。
作成費用	30万円(税別) + 交通費等	30万円(税別) + 交通費等

■ ご承知いただきたい事項

- ◇ 評価書完成後、調査会社は当金庫に評価書を送付します。評価書は当金庫より御社にお渡しするとともに、評価書の内容に関しご確認をさせていただく場合がございます。
- ◇ 評価書の取得により、当金庫がご融資をお約束するものではありません。ご融資には別途、審査が必要となります。
- ◇ 御社および当金庫以外の第三者の方に評価書を開示する場合は、当金庫に事前にご相談いただきますようお願いいたします。
※調査会社によっては、開示できる範囲に制限がある場合がございます。

商工中金
☎

支店

担当:



@gm.shokochukin.co.jp